

庁議記録

日 時 令和5年10月11日(水)

11:00~11:20

場 所 テレビ会議室

【濱坂副知事】

それでは、ただいまから庁議を開催いたします。本日の議題は、報告事項が3件です。はじめに「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」について、水産林務部次長から説明をお願いいたします。

【水産林務部次長】

9月16日、17日に開催いたしました「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」について、ご報告いたします。本大会は、天皇皇后両陛下のご臨席の下、水産資源の保護と環境保全の大切さを広く国民に訴え、つくり育てる漁業の推進を通じて、漁業の振興と発展を図ることを目的に、毎年開催されております国民的行事でございます。このたびの大会では、「守りぬく、光輝く、豊かな海」を大会テーマに、海洋プラスチックゴミ対策など環境保全に対する道民の意識を高めるとともに、将来にわたって漁業を行えるよう、増殖技術の向上など、様々な取組を通して、豊かな海づくりの輪を全国に広げますほか、道産水産物をはじめとした食や魅力ある自然など「北海道ブランド」を全国にPRいたしました。

式典行事、それから海上歓迎、放流行事につきましては、17日に厚岸町厚岸漁港において開催いたしました。大会会長であります衆議院議長や関係大臣をはじめ、道選出の国会議員、道議会議員のほか、道内外からの多くの漁業関係者、行事の補助をいただきました厚岸翔洋高校ほか4校の高校生など、全体で約1,200名の皆様にご参加いただきました。

式典行事では、天皇陛下のおことばを賜りまして、また、漁業者が両陛下からホタテガイやカキなどの種苗のお手渡しを受けるとともに、大会決議を行った後、知事から来年の開催県でございます大分県知事に大会旗を引き継いでおります。

海上歓迎行事では、地元厚岸町の漁船や道総研の試験調査船、それから道の取締船で、海上歓迎パレードを行いました。放流行事では、両陛下にマツカワとホッカイエビを御放流いただいた後、招待者の皆様にも放流をしていただきました。

関連行事は、厚岸町と釧路市で16日、17日の両日開催いたしまして、延べ8,800人と多くの方々にご来場いただきました。開催地であります厚岸町と釧路市をはじめ、釧路管内の各市町村の皆様にも、関連行事への参加などご配慮、ご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

最後に大会の開催にあたりましては、約500名にのぼる多くの職員の方々に多大なご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。特に、釧路、十勝、根室、オホーツク及び日高の各

振興局におかれましては、本当に多くの職員を派遣していただきまして、改めて、厚くお礼申し上げます。また、道警本部長をはじめ道警、それから全国の警察から多くの方に警衛・警護に携わっていただきますとともに、数多くの助言をいただきましたこと心からお礼申し上げます。

天候にも恵まれまして、皆様のご協力のもと、大会を無事開催できましたこと、重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。以上です。

【濱坂副知事】

次に「アドベンチャートラベル・ワールドサミット」について、観光局長から説明をお願いいたします。

【観光局長】

それでは、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」の開催結果につきましてご報告いたします。資料2をご覧ください。先日11日から14日までを会期として開催した本サミットには、主催者からの発表によりますと、64か国から旅行会社やメディアなど750名以上の方が参加しました。

また、各種体験ツアーでは、会期前に開催した宿泊ツアーに173名、会期初日の札幌発着の日帰りツアーに547名が参加するとともに、会期終了後にもATWS北海道実行委員会が主催する体験ツアーに道内4地域32名が参加するなど、本道のアドベンチャートラベルの魅力を直接体験いただきました。

大倉山ジャンプ競技場で開催したオープニングセレモニーでは、実行委員会会長である知事から歓迎の挨拶をいただき、アイヌ古式舞踊やスキージャンプ、各種ステージイベントで北海道の文化を発信するとともに、道産の食材をふんだんに使った食事や道産の日本酒、ワインの提供を通じ、参加者に強く印象に残る時間を過ごしていただきました。

メイン会場である札幌コンベンションセンターにおいても、日本政府観光局と連携して設置したラウンジや商談会の場において、道内各地域や旅行会社が北海道のアドベンチャートラベルをPRいたしました。

今回のサミットの成果を今後の取組につなげていくため、9月20日には、主催者でありますATTAと北海道実行委員会との間で、北海道及び日本のアドベンチャートラベルの地位確立に向け、ともに取り組んでいくことを盛り込んだ共同宣言を発表いたしました。なお、参加者の皆様からは、SNSにより北海道の魅力を数多く発信していただいております。その一部は北海道観光振興機構のサイトにて紹介をされております。

以上、ATWS2023の開催内容についてご報告いたしました。今後とも主催者であるATTAをはじめ関係機関と関係を深めながら、アドベンチャートラベルの普及拡大に向けて取り組んでまいります。以上です。

【濱坂副知事】

次に「高病原性鳥インフルエンザ」について、食の安全推進監から説明をお願いいたします。

【食の安全推進監】

それでは、資料3をご覧ください。高病原性鳥インフルエンザについてですが、昨年の秋から今年の春までのシーズンでは、全国各地の養鶏場において、過去最多となる発生が確認をされたところでは、

本道においても、昨年10月に厚真町、11月に伊達市、さらに本年3月から4月にかけて千歳市内3農場の計5農場で発生をいたしました。特に、この春、千歳市で発生した3農場では、道職員延べ5,000人、自衛隊や市町村・農協等からのご協力を含め、延べ1万人体制で防疫作業にあたったところでして、道内で飼養される採卵鶏の2割を超える約120万羽が殺処分され、鶏卵の需給にも影響が生じたところでは、

発生農場を管轄する胆振総合振興局、石狩振興局におかれましては、現地対応にご尽力いただき、また、その他の振興局や関係各部局の皆様におかれましては、現地への職員派遣等にご協力をいただき、誠に感謝を申し上げます。

この秋からのシーズンにおきましても、海外における発生状況等を踏まえまると、感染リスクが高い状況が続くことが想定をされます。こうした中、先週4日でございますが、道内で野鳥における高病原性鳥インフルエンザの疑い事例が発生をいたしました。現時点で道内の家きん飼養農場において異状を認める報告はございませんが、道では、昨日、北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会を開催しまして、発生予防及び発生時の防疫体制について情報共有を図るとともに、改めて、農場や関係の皆様に対し、石灰散布等による消毒の徹底など、基本的な対策の徹底を繰り返し呼びかけることとしております。

各振興局におかれましても、局段階の警戒本部を継続設置し、危機意識を共有いただくようお願いいたします。なお、万一、発生が確認された場合には、迅速な防疫措置により、まん延を防止する必要がありますことから、各部及び各振興局におかれましては、防疫作業等へのご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

【濱坂副知事】

本日の議題は以上ですが、皆様から何かご発言ありますでしょうか。よろしいですか。それでは、最後に知事からお願いいたします。

【知事】

まず、「全国豊かな海づくり大会北海道大会」であります。38年ぶりに北海道で開催された本大会でありますけれども、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、雨が心配されましたが、天候にもなんとか恵まれた中で、成功裏に終えることができました。

開催地である厚岸町、そして釧路市をはじめとして、大会の成功に向けて本当に多くの皆様にご尽力をいただいたところであります。多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。

また、大会の準備、そして当日の運営でありますけれども、私も大会前日、または当日の対応もそうですけれども、会場運営に携わっている職員をはじめ、水産林務部、関係部、振興局、本当に多くの皆さんが高い緊張感を持って、準備から当日の対応まであたっていただきました。皆さんの力がなければ、成功裏に終えることはできませんでした。職員の皆さんに庁議のこの場を借りて、改めて私からは、感謝を申し上げたいと思います。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

水産業は、自然と共生をしながら、その恵みを利用する産業であります。将来にわたって豊かな海を守り、育て、次の世代に引き継いでいくことが重要であります。漁業者の減少、高齢化、海洋環境の変化、さらには、現在、中国の輸入停止措置といった課題への対応など、そういった様々な課題へと向き合っている中でありますが、この度の海づくり大会を契機として、これまで以上に関係機関としっかり連携をして、本道の水産業の持続的な発展に向け、取組を進めていきたいと思っておりますので、皆さんよろしくお願い申し上げます。

また、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」については、一昨年のサミットは、コロナ禍という状況の中でバーチャル開催、これも ATTA の中では、世界で初めてのバーチャル開催という形になったわけではありますが、今年は、世界 60 か国以上から、多くの方々に実際にお越しをいただいて、北海道の魅力をリアルに体験をしていただく、我々の願いでもありましたが、実現することができました。

各地でツアーを実施していただいた観光関係の皆様、そしてこのアドベンチャートラベル・ワールドサミットを支えていただいたすべての皆様に対して、感謝を申し上げます。

道内の観光関係者にとっても、世界各国の参加者と交流することで、大変貴重な知見やネットワークを培うことができました。このサミットを通じて、本道の可能性を広げることができたと考えています。サミットの成果を、今後につなげていくことが北海道にとって重要になります。

サミット開催を契機として、全国に先駆けて7月にスタートいたしましたアドベンチャートラベルガイド認定制度、これはまさに全国に先駆けて実施をしているものでありますので、アドベンチャートラベルは北海道だけではなく、他の県においても、非常に関心も高くなってきているので、こういった認定制度のPRをはじめ、本道のアドベンチャートラベルが、世界の方々に認められて、北海道観光の価値が高まるように、当然、観光担当セクションのみならず、各振興局や、他の部局においても、こういったサミット開催を契機として、より一層取組を進めていただきたいと思っております。

最後に「高病原性鳥インフルエンザ」であります。先週、道内で高病原性鳥インフルエンザの疑い事例が確認されました。昨日、北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会を開催し、改めて関係機関との情報共有を図ったところです。

これから感染リスクが高まる時期を迎えます。本庁、各振興局の皆さんには、発生の予防に向

けて、すでに振興局で、そういった訓練を実行していただいているところもありますが、危機意識を高めていただくようお願いを申し上げます。

また、発生が確認された場合には、これまでもそうですが、多くの皆様のご協力なくして、防疫措置を迅速に行うことができませんので、防疫に向けた体制などについて、改めて確認をしていただいて、万が一の発生に備える準備をしていただくよう指示をいたします。私からは以上であります。

【濱坂副知事】

それでは、各部、振興局においては、知事の指示事項を踏まえ対応いただくようお願いいたします。以上で本日の庁議を終了いたします。